

公益財団法人とかち財団 平成26年度事業計画

I 基本方針

北海道経済は、政府の金融緩和、財政出動、成長戦略の3つを柱とするいわゆる「アベノミクス」の影響もあり、緩やかに持ち直しているものの、消費税率の引き上げ、今後の電力料金の値上げ、円安による輸入原油価格の高騰、原材料費のコストアップなど依然として予断を許さない状況が続いています。

また、TPP交渉への参加は、農業への多面的機能への影響、食の安心安全への影響などが考えられ、農林水産業を経済基盤とした十勝にとって、先行き不透明な状況にあり、国内外の情勢に十分注意する必要があります。

十勝・帯広は、「フードバレーとかち」を掲げ、十勝定住自立圏の締結、国際戦略総合特区の指定、バイオマス産業都市の認定などにより十勝地域全体が一体となって、アジアの食と農林漁業の集積拠点を目指した産業振興に取り組んでいます。

こうした状況を踏まえ、当財団では地域の産業振興支援機関として、十勝産業振興センター、道立十勝圏地域食品加工技術センターの機能を活かして、大学や試験研究機関、産業支援機関等と連携協力しながら、「ものづくり支援」と「地域連携支援」を両輪とした質の高い事業を展開し、地域産業の振興に引き続き努力してまいります。

当財団は、昨年度、公益財団法人としてスタートするとともに、設立20周年を迎えました。また、文部科学省の補助事業である「地域イノベーション戦略支援プログラム事業」が終了するなど財団を取り巻く環境の変化を大きなチャンスとして捉え、これまでの取組みや研究成果を活かした事業展開を図るとともに、効率的な法人運営に努め、財団に与えられた役割と使命を果たしてまいります。

II 事業計画

<公益目的事業>

(1) 食産業支援事業

十勝圏地域食品加工技術センターの機能を活かし、圏域で生産される農・畜・水産物及びこれらを原材料とする加工食品の品質向上に関する試験分析をはじめ、新製品・新技術の開発に関する試験研究及び食品加工技術の指導・普及、技術者間の交流促進、各種情報の収集・提供といった様々な機能を有する「地域の食品加工技術力の向上と産業振興を図る研究開発・技術支援拠点」としての役割を果たすため、下記の事業を展開する。

特に、試験研究については研究区分を4つに整理して明確化し、従来の「ものづくり支援」はもとより、商品開発力の基盤強化に寄与する評価系の検討、地域資源を活用した食品素材の抽出・生産技術の開発やそれらの食品素材を用いた高付加価値加工食品の開発支援、地域の連携推進に寄与する課題等をバランスよく行なっていき、地域との連携推進については既に要請されているニーズに対応する形で研究課題として取り組んでいく。

また、文部科学省事業「とかちABCプロジェクト」は、その総括を含めて、事業評価書を作成し、文科省における最終ヒアリングに対応するとともに、引き続き、道及び文科省との協議を続ける。さらに、新たな課題を設定することにより、他省庁も視野に入れた中で外部資金獲得も併せて目指していく。

① 検査分析の実施

企業等から依頼のあった食品の成分等の分析を実施し、公設試験研究機関としての証明を行う。

② 試験研究の実施（4テーマ）

地場農畜水産物の高付加価値化や品質安定化等を図るための実用的な試験研究や技術開発・改良を実施する。

③ 技術相談・指導の実施

企業等が抱える新製品・新技術開発及び生産現場における実際の問題点等の相談に対応し、その解決に向けた指導・助言を実施する。

④ 講師・アドバイザーの派遣

圏域の市町村や関係機関等からの要請に応じ、センター研究員を講師・委員・アドバイザー等として派遣し、専門技術・知識の普及や商品開発支援を実施する。

⑤ 食品加工技術者的人材育成の実施

○専門性の高い技術者育成セミナー等の開催

食品開発、品質管理、加工・分析機器等に関する実務的な専門セミナー（6回）を開

催する。

○技術研修生の受け入れ

企業等の技術者の資質向上を目的として研修生を受け入れ、食品加工に関する技術習得を支援する。

⑥ 技術研究会の実施

圏域各地で食品加工・開発や品質管理等に携わる経営者・技術者間の交流を促進し、技術課題解決や新製品・新技術開発を図るための研究会を開催する。

⑦ 地域連携支援事業における技術交流の実施

とかち財団が実施・支援する地域連携支援事業に食品加工技術センターの研究員が参加・出席し、食材開発及び事業化の検討、技術情報等の発信、加工食品の評価・検査等を実施する。

⑧ 情報提供・成果普及・P R 等

○成果発表会等を通じた技術支援・試験研究成果の発表・普及

研究開発事例や技術相談対応などの「技術支援成果」を積極的に発表・普及し、成果の浸透・定着による加工技術力の向上を図る。

○ホームページ等による情報提供及び活動内容・実績等のP R

食品加工技術センターの認知度向上及び利活用促進を目的として、ホームページや展示会出展等により、技術情報の提供や事業内容・活動実績の積極的なP Rを実施する。

⑨ 外部資金を活用しての試験研究

外部資金（補助金等）を活用して、食品加工に関する技術開発・製品評価等を実施する。

⑩ 北海道立十勝圏地域食品加工技術センター指定管理業務

施設等の適切な保守管理を行い、利用者へのサービス向上と利用の促進を図る。

（2）ものづくり産業支援事業

十勝産業振興センターの機能を活かし、地域の中小企業等の事業活動を支援するため、6つの事業を柱に実施していく方向とし、これらの活動を通じ、地域産業振興の支援拠点としての役割を果たすため、下記の事業を展開する。

特に、地域優位性を活かした農業機械分野や経済波及効果の高い加工組立型工業、それらを支える基盤技術産業の研究開発を重点化していく。具体的には食と農畜水産業を中心とした産業との連携を強化、食産業関連機械等の新分野への進出展開支援を行っていく。

また、さらなる認知度向上を目指す上で、平成26年7月に開催される「国際農業機械展」に出展する予定である。多様な多くのニーズに対応するため、新たな新商品開発のために、分野の異なる企業間連携（コラボ）によるコーディネート機能について、試行的に実施していく。

① 企業相談事業

- ・企業等において生じた技術的課題やニーズ等を収集し、技術相談対応、OJT、コーディネート、技術開発、部品や製品の供給（収益事業）等、振興センターが提供できる技術やネットワークを活用し、企業のものづくりの課題を解決する。また、各企業等から生じた経営、創業などの相談を受け付け、解決に向けた支援対応を行う。
- ・効果的な支援を実施していくため、製品開発支援に必要な設計・製造等の外注先の開拓に取組む。

② 検査分析事業

○検査分析の実施

- ・企業等から鉄筋やコンクリートの強度試験等を随時受付け、公的な試験成績証明書を発行する。
- ・企業等からパークゴルフ用品（クラブ・ボール）の評価試験を随時受付け、公的な試験成績証明書を発行する。

○設備機器の貸出し

- ・当センターが保有する設備機器を有償にて貸出す。

③ 試験研究事業

- ・企業ニーズに即応し、また製品開発の実態に合った柔軟な技術開発を実施するため、主として企業ニーズが起点となる研究開発課題（3テーマ）について取り組む。
 - 血乳検査装置の開発
 - マニアスプレッダ速度制御装置の開発
 - 農産物検査装置用高速画像処理エンジンの開発

④ 情報提供事業

- ・十勝産業振興センターのホームページやメーリングリスト、パンフレット、電子媒体等を用い、研究成果や技術情報、そして事業開催の案内等を適宜発信する。
- ・共同開発した製品について、販売促進を目的としたPRを積極的に行う。
- ・十勝産業振興センターの活動成果を企業等へ普及促進するための成果発表会を開催する。開催日は平成27年2月頃を予定。

⑤ 人材養成事業

- ・圏域の技術者の技術力向上を狙った技術講習会などを開催する。また、一昨年度より開催をスタートさせた主に短期間・少人数でも開催する「オンデマンド型技術セミナー」（2次元CAD、PLC、マイコン）を継続して募集する。
 - 3次元CAD講習会：導入編2回、応用編1回
 - オンデマンド型技術セミナー：継続募集、要望に応じて随時開催

⑥ 产学連携事業

- ・ものづくりを中心とした企業支援成果の紹介普及の機会として、展示会への出展等や異業種交流や関連団体等との交流促進等に資する業務を計画する。また、产学研官連携等を活用した事業化支援に関する情報の収集や活動等を計画する。

- ・本年度は第33回国際農業機械展in帯広（会期：平成26年7月10日～7月14日）が開催される。とかち財団ブースを設け、企業支援成果を中心とした取組内容の展示を行う。

（3）地域連携支援事業

十勝産の農畜産物や加工品の販路拡大並びに产学研官・企業間連携を促進し、産業おこしや十勝ブランド確立のため、下記の事業を展開する。

特に、地域のブランド形成、販路開拓等、物産振興の取組みについて、棲み分けの整理や連携の強化を図っていく。

また、十勝ブランド認証品について、「チーズ」、「パン」、「お菓子」に次ぐチーズ以外の乳製品の認証商品を追加し、普及PRを支援していく。

① 物産振興支援事業

○十勝の物産PR支援

管内19市町村、農業・商工団体、観光・物産協会等と連携し、農畜水産物や加工食品の地産地消を促進するとともに、十勝の魅力・地域力を内外にPRするため、催事・物産展等イベントへの連携・協力を実施する。

○地域の農畜水産物・加工食品の販路開拓・拡大事業

北海道・十勝を印象付ける高付加価値農畜水産物や、それらを生かした加工食品の販路拡大を促進し、食品加工技術センター開発関連商品や十勝ブランド認証品のPRするため、地域で活躍する企業・団体による商談会等への共同出展を支援する。

<主な商談会> FOODEX JAPAN、アグリフードEXPO

② 産業連携支援事業

○产学研官連携促進事業

十勝圏の产学研官（研究者、経営者、行政等）の人的・物的・知的交流を促進し、それにより、新技術、新産業創出のための地域力を向上させることを目的に、产学研官交流会「ヒューマンネット十勝」の開催（年4回）や管内クラスター研究会の情報集約、事業への参加を実施する。

○十勝ブランド確立事業

十勝産品の付加価値と信頼性を高めることで、農業、食品製造業並びに関連産業の振興を図り、地域全体の活力向上に資することを目的に、十勝ブランド認証機構の運営を支援し、事業拡大を推進する。

■事務局としての事業推進

■認証基準、製造技術面でのサポート

■十勝ブランド事業支援委員会の開催